

令和元年度 第2回 日進市地球温暖化対策地域協議会 文書会議資料

議 題

(1) 令和元年度事業計画事業報告について（資料1）

本年度の事業報告です。補助金事業等、終了していない事業があるため、令和2年度の第1回協議会内で最終版を報告させていただく予定です。

(2) 令和2年度事業計画（案）について（資料2、資料3）

平成31年3月に中間見直しを行った「日進市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」に沿った事業を推進するため、各事業を計画の施策ごとに整理しております。

また、計画に具体的な数値目標を追加しております。これら指標の一部は、年度終了をもって数値が確定するものがありますので、令和2年度事業の最終的な数値や事業結果報告は、令和3年の7月上旬頃開催予定の令和3年度第1回協議会内で行う予定です。

【資 料】

資料1 令和元年度日進市地球温暖化対策地域協議会事業報告

別紙：令和元年度 にっしん省エネ倶楽部事業のあらまし

資料2 令和2年度日進市地球温暖化対策地域協議会事業計画（案）

資料3 重点施策と具体的内容（実行計画より）

別紙：令和2年度 地球温暖化対策機器設置費補助金について

委員名簿

委員の区分	委員名	
学識経験を有する者	中部大学中部高等学術研究所 博士	原 理史
	愛知学院大学 総合政策学部教授	森下 英治
事業者	中部電力(株) 電力ネットワークカンパニー 天白営業所長	伊藤 進
	東邦ガス(株) 日進営業所長	米森 清紀
	あいち尾東農業協同組合日進支店 基幹支店長	内藤 正勝
	名鉄バス(株) 名古屋営業所長	廣田 実
	荒川工業(株) 総務部 部長	高木 伸治
	中央可鍛工業(株) 安全環境管理室 課長	岩元 裕満
	豊精密工業(株) 安全施設環境部 グループリーダー	小林 成昌
公募の市民		黒田 純男
		山本 裕子
市長が必要と認める者	日進市商工会 女性部理事	浅井 弘視
	生物多様性日進市民協議会	出原 伸平

事務局名簿

事務局	日進市市民生活部長	牧 智彦
	日進市市民生活環境課長	加藤 慎司
	日進市市民生活部環境課主幹	石川 博之
	日進市市民生活部環境課環境政策・ESD 推進係 係長	片岡 麻里
	日進市市民生活部環境課環境政策・ESD 推進係	松田 涼輔

令和元年度日進市地球温暖化対策地域協議会事業報告

1 事業活動の基本方針

地域における地球温暖化対策を推進するため、市民・事業者・行政の力を集結して、地球温暖化防止活動等の活性化と啓発を図る。

2 令和元年度の重点目標

日進市地球温暖化対策実行計画に定められた具体的施策内容の中から日常生活・日常活動の中で取り組める対策（行動計画）を推進する。

また、地球温暖化対策に関する市民の意識高揚のための啓発活動を行う。

3 事業の内容及び実績報告

事業内容	実績				
<p>(1) 実行計画の推進</p> <p>①緑のカーテンコンテストの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象：一般部門（住宅・事業所等） 公共施設部門（学校、保育園等） 実施日：令和元年7月16日～ 令和元年9月13日 審査：令和元年9月下旬 （地域協議会会長及び副会長 で実施） 表彰式：令和元年11月17日（日）、 市民まつり会場 参加人数：参加者約200人 表彰式参加者約300人 	<p>(1) 実行計画の推進</p> <p>① 緑のカーテンコンテストの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 応募結果：一般部門：26件 公共施設部門：36件 <table border="1"> <tr> <td>30実績</td> <td>一般部門：13件 公共施設部門：38件</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 緑のカーテン育成講座 参加者数：10人 実施日：5月11日（土）・13日（月） 市民まつり（11月17日（日））内で「緑のカーテンコンテスト」表彰式を開催 場所：日進市役所駐車場 時間：午前9時30分～（15分程度） 表彰：一般部門から、最優秀賞1名、優秀賞3名を表彰。 	30実績	一般部門：13件 公共施設部門：38件		
30実績	一般部門：13件 公共施設部門：38件				
<p>② 環境学習講座の実施</p> <p>(ア) コミュニティ公募提案事業の実施</p> <p>(イ) 夏休みリサイクルツアーの実施</p>	<p>② 環境講座の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニティ公募提案事業 事業数：10事業、36講座 参加者数：約580人（全て終了、1講座中止） <table border="1"> <tr> <td>30実績 (10事業)</td> <td>34講座、約630人参加（年度末）</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 夏休みリサイクルツアーの実施 実施日：8月8日（木） 参加者数：20人 <table border="1"> <tr> <td>30実績</td> <td>21人</td> </tr> </table>	30実績 (10事業)	34講座、約630人参加（年度末）	30実績	21人
30実績 (10事業)	34講座、約630人参加（年度末）				
30実績	21人				

事業内容	実績									
<p>③省エネ行動の普及促進</p> <p>スマートエコアクション</p> <p>～小さなエコも未来につながる贈り物～</p> <p>(ア)エコライフに関する情報等の普及促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化対策のための行動を始めるきっかけづくりとすることを目的に、国が実施している「COOL CHOICE」の参加を呼びかける。 ・愛知県が進める「わが家の省エネ&CO2 ダイエット作戦」への参加を啓発。 ・愛知県が作成している「家庭の省エネ指南書」についても普及啓発をおこなっていく。 	<p>③省エネ行動の普及促進</p> <p>(ア)エコライフに関する情報等の普及促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページ掲載 ・公共施設窓口にてチラシ配布 ・市広報掲載 6回 ・環境新聞（区へ回覧）3回 ・にしん省エネ倶楽部事業 <p>(別紙：省エネ倶楽部事業のあらまし参照)</p> <p>国が進める温室効果ガス排出削減のための国民運動「COOL CHOICE」を広めることを目的とした事業で、省エネ倶楽部事業を推進した。今年度も引き続き、子どもの環境教育をきっかけとした家庭においては省エネ行動につながるよう普及啓発事業を実施した。今年度は、ウォームシェアの一環として「あったか団らん鍋フェア」や、地元販売店と協力した「エコライフキャンペーン」を実施した。</p> <p>(家電販売店、リフォーム会社、自動車販売店)</p>									
<p>(イ)にしんクールシェア・ウォームシェアの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電力ピーク時間帯（午後1時～午後4時）における家庭での節電のため、エアコンを消して涼しいところに集まる「クールシェア」の取り組みを推進する。 ・また、夏季よりも電力使用時間が長い冬季に節電のため、エアコンを消して暖かいところに集まる「ウォームシェア」の取組も推進し、通年にわたっての取組にする。 <ul style="list-style-type: none"> ・クールシェア、ウォームシェアの両方について協力店を募集。協力店や公共施設を掲載したチラシ、ポスターを作成し、実施を啓発する。 ・実施初年度のため、ウォームシェア普及啓発事業（イベント等）を実施する。 	<p>(イ)にしんクールシェア・ウォームシェアの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施期間 <ul style="list-style-type: none"> 夏：令和元年7月1日～9月30日 冬：12月1日～令和2年3月31日 ・協力：民間事業者 15施設 他自治体 1団体 日進市施設 28施設 <table border="1" data-bbox="821 1579 1476 1724"> <tr> <td>30 実績</td> <td>民間事業者</td> <td>14 施設</td> </tr> <tr> <td></td> <td>他自治体</td> <td>1 団体</td> </tr> <tr> <td></td> <td>日進市施設</td> <td>28 施設</td> </tr> </table> <p>※増減内訳 既存：1減 新規：3増 結果：1増</p> <p>※愛知県が推進する「あいちクールシェア」にも市内3施設を登録。 (市民会館、スポセン、図書館)</p>	30 実績	民間事業者	14 施設		他自治体	1 団体		日進市施設	28 施設
30 実績	民間事業者	14 施設								
	他自治体	1 団体								
	日進市施設	28 施設								

事業内容	実績
<p>(ウ)「見える化ラベル」の配布</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化防止に取り組む事業所として顧客に対する PR 及び従業員への啓発を実施するため、また事業所・工場などにおける省エネを進めるため、啓発ラベル等を作成し、希望事業所等に配布する。 	<p>(ウ)「見える化ラベル」の配布</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境課窓口にて配布 市ホームページにて周知
<p>(エ)地球温暖化対策機器設置費補助事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化防止対策の一環として、住宅への太陽光発電システムなど環境配慮型機器の設置費補助事業を実施する。 	<p>(エ) 地球温暖化対策機器設置費補助事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助対象メニュー <ul style="list-style-type: none"> ①太陽光発電 72件 ②太陽熱 0件 ③エネファーム 30件 ④蓄電池 77件※昨年度から増加傾向 ⑤HEMS 36件 ⑥電気自動車充電設備 2件 ⑦エコ窓改修 8件 補助実績は令和2年3月12日時点
<p>(オ)につしん子ども省エネ倶楽部事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年度より実施している市内の家庭や小規模事業所からの温室効果ガス排出量削減を目的とする事業を実施する。 子どもを通じた家庭の省エネ化を推進するため子ども省エネ教室を実施する。 市内でユネスコスクールに認定されている中部第一高等学校など外部機関と連携し、効果的な普及啓発に努める。(動画コンテンツの作成等) 	<p>(オ)につしん子ども省エネ倶楽部事業の実施 (別紙：省エネ倶楽部事業のあらまし参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業名称：につしん省エネ倶楽部 COOL COICE 促進ネットワーク事業 事業期間：令和元年8月1日から令和2年2月14日まで 予算：400万程度(未確定) 環境省間接補助金交付事業

事業内容	実績						
<p>④ 環境保全行動の普及促進</p> <p>にしん環境まちづくりサポーターズ制度の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民、市民団体、事業者、行政等の各主体が、緩やかな連携を図りながら、環境まちづくりに参加する人を増やす組織として、環境まちづくりサポーターズ会員登録制度を推進し、活動のインセンティブの仕組みとしてポイント抽選制度を実施する。 <p>※ポイント抽選制度</p> <p>市民のみなさんが環境まちづくりのためになる活動を行うとポイントが貯まり、記念品が当たる抽選会に参加できる制度。</p> <p>※ポイント対象行為</p> <p>エコライフ・エコドライブ宣言、にしんクールシェア、ESD 講座（環境イベント）への参加、緑のカーテンコンテストへの参加、省エネ機器の設置、530 運動への参加、生ごみ処理機購入、その他 ESD 関連講座への参加など。</p>	<p>④ 環境保全行動の普及促進</p> <p>にしん環境まちづくりサポーターズ制度の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 登録会員数：2,043 人（2/7 現在）+224 人 <table border="1" data-bbox="821 436 1481 533"> <tr> <td>30 末実績</td> <td>1,819 人</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 抽選会 <ul style="list-style-type: none"> ① 令和元年 7 月 6 日（土） <ul style="list-style-type: none"> にしんわいわいフェスティバル会場（実施済：応募数 603 口、当選者 12 人） <table border="1" data-bbox="821 728 1481 779"> <tr> <td>30 実績</td> <td>977 口</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度協賛企業：32 社 ② 令和元年 12 月 12 日（木）～25 日（水） <ul style="list-style-type: none"> にぎわい交流館受付（実施済：応募数 445 口、当選者 15 人） <table border="1" data-bbox="821 974 1481 1025"> <tr> <td>30 実績</td> <td>268 口</td> </tr> </table>	30 末実績	1,819 人	30 実績	977 口	30 実績	268 口
30 末実績	1,819 人						
30 実績	977 口						
30 実績	268 口						
<p>(2) 広報活動</p> <p>①協議会の広報</p> <p>当協議会の活動について広く市民に周知することを目的に、環境新聞(区に回覧)、市広報周知を実施予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境新聞（年 4 回予定） 	<p>(2) 広報活動</p> <p>①協議会の広報</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境新聞 <p>1 号：過剰包装・地球温暖化</p> <p>2 号：猫の適正飼養・野焼き</p> <p>3 号：サポーターズ制度・SDGs</p>						

事業内容	実績				
<ul style="list-style-type: none"> ・市広報（予定） <ul style="list-style-type: none"> 5月：緑のカーテン育成講座開催、 緑のカーテンコンテスト周知 6月：環境月間 7月：クールシェア 11月：ウォームシェア 12月：地球温暖化対策 2月：省エネルギー月間 	<ul style="list-style-type: none"> ・市広報（掲載済） <ul style="list-style-type: none"> 5月号：緑のカーテン育成講座開催、 緑のカーテンコンテスト周知 6月号：環境月間、クールシェア募集 7月号：クールシェア 11月号：ウォームシェア（鍋フェア） 12月号：温暖化防止月間周知、第2回 環境まちづくりサポーターズ 抽選会情報 2月号：鍋フェア（ウォームシェア） 				
<ul style="list-style-type: none"> ・環境まちづくりサポーターズ会員へのメールマガジン配信（毎月15日予定） 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境まちづくりサポーターズ会員へのメールマガジン配信（毎月15日予定） <ul style="list-style-type: none"> 4月15日第40号から 2月15日第50号まで配信済み <p style="text-align: center;">（平成28年1月から配信開始）</p>				
<p>②市ホームページへの掲載</p> <p>インターネットを利用して、当協議会の事業等についての紹介と同時に、地球温暖化防止等を市民に対して啓発する。</p>	<p>②市ホームページへの掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑のカーテンコンテスト ・にしんESD講座 ・見える化ラベル ・にしんクールシェア・ウォームシェア ・地球温暖化対策（COOL CHOICE、補助金等） ・環境まちづくりサポーターズ事業 				
<p>③各イベントへの参加</p> <p>広く地域住民に、当協議会の活動及び地球温暖化に関する情報の提供を行うことを目的に、エコフェスタをはじめとした、各種イベントに参加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年530（ごみゼロ）運動 <ul style="list-style-type: none"> 令和元年5月26日（日） 市役所出発 等 ・第4回にしんわいわいフェスティバル <ul style="list-style-type: none"> 令和元年7月6日（土） 日進市民会館他 	<p>③各イベントへの参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・530（ごみゼロ）運動： <ul style="list-style-type: none"> 令和元年5月26日（日） 市役所出発 等 参加者：約900人（市役所集合人数） <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">30 実績</td> <td>約900人（市役所集合人数）</td> </tr> </table> ・第4回にしんわいわいフェスティバル <ul style="list-style-type: none"> 令和元年7月6日（土）、日進市民会館他 来場者：約3,700名 参加団体：110団体 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">30 実績</td> <td>来場者：約4,300人 参加団体：164団体</td> </tr> </table> 	30 実績	約900人（市役所集合人数）	30 実績	来場者：約4,300人 参加団体：164団体
30 実績	約900人（市役所集合人数）				
30 実績	来場者：約4,300人 参加団体：164団体				

3. 事業の成果

取組みの参加者数（普及啓発の訴求数）

これらの活動による普及啓発の結果、直接効果 2,171 人、波及効果 2,207 人の合計 4,378 人に省エネ等の COOL CHOICE を働きかけることができました。また個人 1,314 人、企業等 10 団体に COOL CHOICE の賛同をいただくことができました。

二酸化炭素削減の効果

子ども省エネ教室への参加児童の家庭に対しては「にっしん COOL CHOICE アンケート」を実施しています。これらを回収して得られたデータ（有効データ数 58 件）を元に CO₂ の削減効果を推計しました。

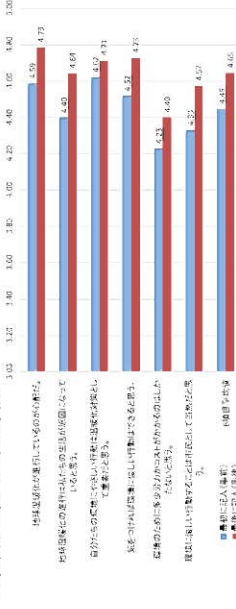
推計の結果、本運動の全体の効果として年間削減効果として年間削減効果ベースで 4,379 kg/年（設定見直し 3,205 kg/年、日常行動 1,175 kg/年）、およそ 4.4t/年の二酸化炭素削減効果が現れたと評価されました。

意識づけの効果

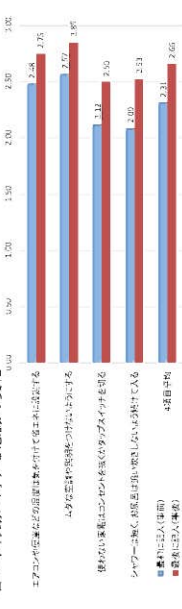
「にっしん COOL CHOICE アンケート」の事前、事後の比較では、地球環境の意識についても、また省エネ行動をしようという気持ちについても、すべての項目が事前に対して事後が上回っており、省エネの取組みを通じて高くなっていくことがわかりました。

また家電の買換え行動についても事前に対して事後の方が環境性能を重視する意識が高くなる効果が現れました。省エネ行動を実際に取り組むことで、意識づけについて普及啓発による効果が表れたと考えられます。

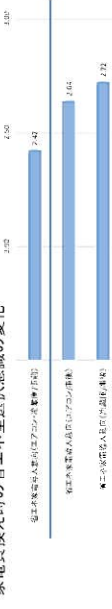
地球環境に対する意識の変化



省エネ行動に対する意識の変化



家電買換え時の省エネ型選択意識の変化



令和元年度にっしん省エネ倶楽部事業のあらまし 日進市 令和2年2月
協力：一般社団法人環境創造研究センター（愛知県地球温暖化防止活動推進センター）

令和元年度 にっしん省エネ倶楽部事業のあらまし

日進市

1. 事業の目的と概要

地球温暖化の取組みにおいては、特に増加が著しい家庭部門での「COOL CHOICE」行動（地球にやさしい賢い選択）が行われることが必要です。そのためには様々な市民が連携して活動できるような、コミュニティづくりが重要です。本市では、平成28年6月、市長の環境宣言に COOL CHOICE を取り入れ、市全体の取組みを推進することとしました。これを受け、地球温暖化対策協議会の活動の一環としてコミュニティネットワーク「にっしん省エネ倶楽部」を構築し、地域における省エネ活動の普及啓発に取り組んでまいりました。また、平成28年

に閣議決定された「地球温暖化対策計画」を踏まえ、平成31年3月に地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域施策編）の改訂を行いました。本年度は昨年度の実行委員会における提言に基づき、多世代交流を強化するなど地道に普及啓発を継続することを目的として事業を実施しました。事業の推進にあたっては実行委員会を設けて様々なステークホルダーと密な情報交換を行うとともに、市の広報誌を活用して市民に様々な COOL CHOICE の情報を提供して、市民全体への訴求を図っています。



あったかだんらん鍋フェア
(広報にっしん11月号)

エコライフキャンペーン
(広報にっしん12月号)

2. 事業内容

1. 高校・子供会・市民団体と協働した多世代連携によるエコライフ普及啓発

中部大学第一高校 ESD 部での「未来への語り部」との交流や、ワークショップを実施するとともに、成果について日子運子ども会大会へ出展しました。

(1) 「未来への語り部」講座・WS の開催

豊富な経験がある4人の市民活動家に、日頃からの地球環境に配慮した活動の中での（おばあちゃんの知恵袋のような）「選択」場面を語りつつ、その重要性を若い世代に伝える活動として、10分間の講話を企画するWSを2回開催しました。その結果を用いて中部大学第一高校 ESD 部の生徒に講話をお話しをするなど2回の交流会を実施しました。



(2) 「中部第1高校 ESD クラブ」動画作成WSの開催
 中部大学第一高校 ESD 部メンバーによる COOL CHOICE の自主動画作成を行うことを目標としたワークショップを4回実施しました。シナリオ、脚本、撮影等については生徒が主体的に行い、ニュース報道番組をイメージした動画を作成しました。

(3) 「日子連子ども会大会」へのブース出展

令和元年12月1日に開催された日進市子ども会連綿協議会子ども会大会では、中部大学第一高等学校 ESD 部が中心となって、作成した動画の公開とともに、COOL CHOICE のすごろくゲームや、省エネイラストカードの種絵筆遊びゲームで遊ぶブースを出展しました。546人の子供たちに対してゲームを通じて自分ができるような省エネ行動に気づいてもらえたいと思います。

2. 鍋レジビキャンペーンによるウォームシニア普及啓発

家庭でのウォームシニアを普及啓発するために、「にぎわい交流館」でランチを提供している「ワンデイズ」に協力を求め、11月10日～11月30日に「ウォームシニアキャンペーン・あったかだんだん鍋ブフェア」を開催しました。期間中の11月17日(日)には「にしん市民祭り」で「鍋ブフェア」ブース出展し来場者に鍋碗をふるまいました。9団体のワンデイズのオリジナルレジビは公開され、お客様のアンケートをもとに提供レジビごとに特徴のある各賞を決定しました。期間中のアンケート回答者は422人に達し、たくさんの方にウォームシニアを訴求することができました。



鍋ブフェアの様子

鍋の一例

3. 市広報や転入者への冊子配布を通じた地元販売店省エネ推進キャンペーンの展開

(1) 小売店等と連携した「省エネ推進キャンペーン」
 市内の小売店10店舗の協力を得て令和元年12月1日～31日の間、「住まいとクルマの省エネキャンペーン」を実施しました。期間中に購入したり、省エネの相談をしたお客様には環境まちづくりサポーターズポイントを配布しました(実績219枚、73人相当)。

(2) 転入者への普及啓発

日進市への転入者へ新生活を応援したとして、COOL CHOICE の普及啓発を行うために、転入手続き時に配布する資料の一つとしてクールライフハンドブックを加えて、エコライフの働きかけを行いました。10月～12月の3か月間で663世帯に配布できました。

転入者数	転入世帯
10月	243
11月	201
12月	219
合計	663

ハンドブックを配布した月別の転入者



ワークショップを示した動画



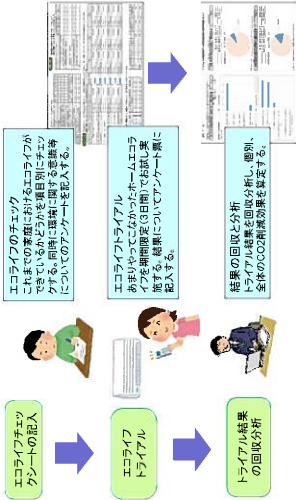
COOL CHOICE のすごろくゲーム

ゲームブースにはたくさんの子供も参加

4. クイズゲーム参加型の子ども省エネ教室開催による家庭へのエコライフ普及啓発

小学生等を対象にクイズゲームを行う「子ども省エネ教室 X 博士の特別指令 クールライフ」で家庭の省エネ大作戦！」を市内の放課後子ども教室で実施しました。合計4回の開催で合計131人の児童が参加しました。

省エネ教室では博士の出題するクイズとカードゲームで COOL CHOICE の内容を学びました。この教室を通じて、省エネに気付いてもらうとともに、「にしん COOL CHOICE アンケート」を家庭に持ち帰って記入してもらいました。第1回 にじのこクラブ 12月23日 26人参加
 第2回 どんぐりクラブ 12月24日 35人参加
 第3回 さくらんぼクラブ 12月25日 28人参加
 第4回 そよかぜクラブ 1月6日 42人参加



X博士のクイズ

カードゲーム

5. 市民まつりブース出展及び環境ポイント抽選会等でのエコライフ自己点検

(1) 市民まつりブース出展

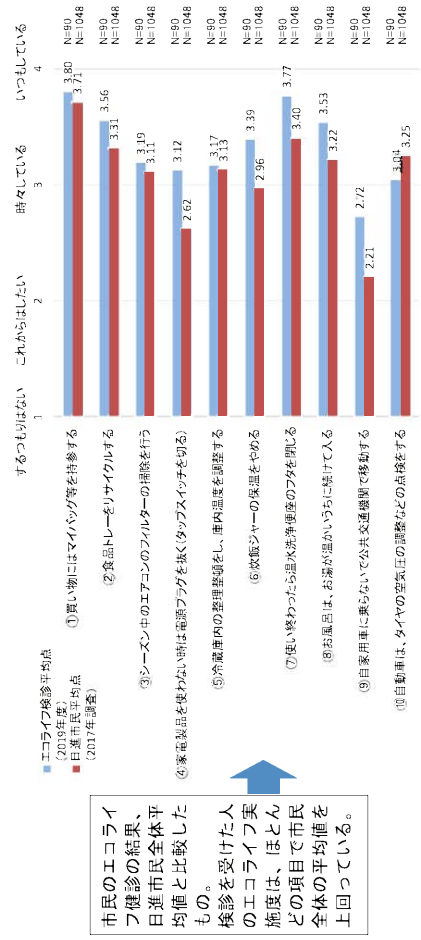
「市民まつり」(11月17日開催)で出展したブースでは X 博士のクイズを集めていただいた親子連れに出題しました。クイズの後は簡単なアンケートにお答えいただき、173人の方に回答いただきました。アンケートの結果、多くの方が地球温暖化についての考えが変わったとの回答をいただき、意識の変化が見られました。



市民まつり出展ブース

(2) エコライフ点検

省エネ行動定着について喚起するための問診型エコライフ診断票を作成し、市民(91人)には環境ポイント抽選会等でのエコライフ自己点検を、市職員(28人)には詳細なエコライフ診断を実施しました。



市民のエコライフ診断の結果、日進市民全体の平均と比較したところ、ほとんどの項目で市民全体の平均を上回っている。



令和 2 年度日進市地球温暖化対策地域協議会事業計画（案）

[令和 2 年 3 月 1 2 日作成]

1 事業活動の基本方針

地域における地球温暖化対策を推進するため、市民・事業者・行政の力を集結して、地球温暖化防止活動等の活性化と啓発を図る。

2 令和 2 年度の重点目標

日進市地球温暖化対策実行計画に定められた具体的施策内容の中から日常生活・日常活動の中で取り組める対策（行動計画）を推進する。

また、地球温暖化対策に関する市民の意識高揚のための啓発活動を行う。

3 事業の内容

日進市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）に沿って事業を推進していきます。それぞれの事業が、どの重点施策にあたるかについては、資料 3 に記載している。

●地球温暖化対象機器設置費補助事業の実施（実行計画：A1 A2 E13）

地球温暖化防止対策の一環として、住宅への太陽光発電システムなど環境配慮型機器の設置費補助事業を実施する。令和 2 年度から、住宅の低炭素化に大きく貢献するため一体的設置メニューを新設する等、昨年度から変更している。（別紙参照）

目標：222 件（補助件数）

●にっしん子ども省エネ倶楽部事業の実施（実行計画：A3）

国や県が実施している国民運動「COOL CHOICE」への参加を呼びかけるとともに、市内の家庭や小規模事業所からの温室効果ガス排出量削減を目的とする事業を実施する。（平成 27 年度から実施）

- ・子どもを通じた家庭の省エネを推進するため子ども省エネ教室を実施する。（児童クラブ・学童等）
- ・市内でユネスコスクールに認定されている中部第一高等学校など外部機関と連携し、効果的な普及啓発に努める。

●にっしんクールシェア・ウォームシェアの実施（実行計画：A3）

- ・夏季の電力ピーク時間帯（午前 10 時～午後 4 時）における家庭での節電のため、エアコンを消して涼しいところに集まる「クールシェア」の取り組みを推進する。
- ・夏季よりも電力使用時間帯が長い冬季における家庭での節電のため、エアコンを消して暖かいところに集まる「ウォームシェア」の取組も推進する。
- ・クールシェア、ウォームシェアの両方について協力店を募集し、協力店や公共施設を掲載したチラシ、ポスターを配布し、周知に努める。

目標：45 箇所（実施施設）

●行動計画の推進（実行計画：B7）

環境方針に基づき、持続可能な環境の実現に向けて「日進市環境保全・創出のための行動計画」を設け、市として省エネルギー、省資源及びグリーン購入の推進を図る。

職員の取り組み度合いを、環境保全チェックシートで把握する。

目標：75%（達成率）

●にっしん環境まちづくりサポーターズ事業の推進（実行計画：C9）

市民、市民団体、事業者、行政等の各主体が、緩やかな連携を図りながら、環境まちづくりに参加する人を増やすことを目的とし、サポーターズポイント制度及びパートナーシップ団体認定制度を推進する。

※ポイント制度は環境まちづくり活動を始めるきっかけづくり及び活動を継続させるモチベーションの向上を目的とした制度であり、ポイントを交付して景品の当たる抽選会への参加を促す。

※ポイント対象行為

エコライフ・エコドライブ宣言、にっしんクール&ウォームシェア、ESD講座（環境イベント）への参加、緑のカーテンコンテストへの参加、地球温暖化対策機器の設置、530運動への参加、生ごみ処理機購入、他部署が実施するESD関連講座への参加など。（健康課の事業である「にっしん健康マイレージ」への参加、生涯学習課や都市計画課などが実施する講座など、環境課以外の講座やイベントでも配布する。）

目標：280人（年間登録者数）

●緑のカーテン事業の実施（実行計画：D12）

①緑のカーテンコンテストの実施

- ・対象：一般部門（市内にある一般住宅および事業所）、公共施設部門（学校、保育園等）
- ・実施日：令和2年7月20日～令和2年9月10日
- ・審査：令和2年9月末頃（会長・副会長に依頼予定）
- ・表彰式：令和2年11月15日（日）、市民まつり会場（予定）

※5月に資材の無料配布を実施し、コンテスト参加を促す。

目標：65件（コンテスト応募件数）

②緑のカーテン育成講座の実施

5月に福祉会館（新）・市役所で緑のカーテンを上手に育てるコツを学ぶ講座を実施する。

③公共施設での緑のカーテン設置

市内公共施設、保育園、小中学校、福祉会館等に緑のカーテンを設置する。

●環境学習講座の実施（実行計画：F15 F16 H18）

①コミュニティ公募提案型事業の実施

- ・対象：市内在住・在勤・在学の方
- ・実施日：未定
- ・実施方法：市民団体または民間への委託事業を予定

②企業と連携した講座の実施

- ・対象：市内在住・在勤・在学の方
- ・実施日：未定
- ・実施方法：民間企業と連携して実施する。

目標：45講座（講座実施数）

●各イベントへの参加（実行計画：G17）

事業内容の普及啓発、発表の場としてイベントを活用する。

5月 530運動

7月 わいわいフェスティバル

11月 市民まつり

●事業の広報（実行計画：G17）

①環境新聞：年4回（予定）

②環境まちづくりサポーターズ会員へのメールマガジン配信（毎月15日配信予定）

③広報につきん（予定）

4月：住宅用地球温暖化対策機器設置費補助金について

5月：緑のカーテンコンテスト周知

6月：環境月間（COOL CHOICE 啓発等）

7月：クールシェア（地球温暖化適応策）

11月：ウォームシェア

12月：地球温暖化対策（メカニズムや現状を含む）

2月：省エネルギー月間（COOL CHOICE 啓発等）

④市ホームページへの掲載

インターネットを利用して、当協議会の事業等についての紹介と同時に、地球温暖化防止等を市民に対して啓発する。

令和2年度日進市地球温暖化対策地域協議会事業計画（案）

資料3

◎重点施策と具体的内容（協議会において主体的に関与する必要性が高いものとその事業内容）

※日進市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）中間見直し P39～48より

区分		重点施策		具体的施策内容	令和2年度事業計画	令和2年度目標	
エネルギー起源CO2	市民	家庭での省エネルギー化の取組	A1	省エネルギー性能の高い設備・機器の導入	電気やガスを用いる機器を省エネルギー性能の高いものに転換することで、家庭での省エネルギー化を効果的かつ着実に進めます。	地球温暖化対象機器設置費補助事業の実施	地球温暖化対策機器設置費補助件数 222件（H30：257件）
			A2	住宅建物の省エネルギー化の促進	住宅建物の断熱性を向上することで、暖房や冷房のエネルギーのロスを抑制します。また太陽光発電等の再生可能エネルギーと組み合わせ、家庭の消費エネルギーの収支をゼロにするZEHや省エネ基準適合住宅の普及を推進します。	広報・HP等で省エネ情報を発信する	
			A3	日常的な省エネルギー活動	「COOL CHOICE」通じて、暮らしの省エネ化、エコライフをめざします。	にっしん省エネ倶楽部事業の実施 にっしんクールシェア・ウォームシェアの実施 広報・HP等で省エネ情報を発信する	
	事業者	事業所での省エネルギー化の取組	B4	省エネルギー性能の高い設備・機器の導入	業務用給湯器や業務用空調機、照明など、エネルギー使用量の多い設備・機器に着目し、積極的に省エネ機器への転換を図ることで、着実な省エネルギー化をめざします。	広報・HP等で省エネ情報を発信する	行動計画達成率 75%（H30：70.1%）
			B5	建物の省エネルギー化の促進	建物の断熱性能を向上することで、暖房や冷房のエネルギーのロスを抑制します。		
			B6	継続的な環境配慮行動のためのしくみづくり	省エネルギー等に資する具体的な行動を明文化したり、定期的に検証することをルール化することで、環境配慮行動を組織に定着させることをめざします。		
			B7	市役所における率先した取組の推進	市の事務・事業に伴う温暖化効果ガスの排出を抑制します。		
	車の所有者	自動車の省エネルギー化の取組	C8	エコカーの導入	従来の自動車からハイブリッド車や燃費の良い自動車に転換することで、二酸化炭素の排出削減を進めます。	エコライフハンドブックの配布	サポーターズ会員登録者数 280人 （H30：274人）
			C9	エコドライブの推進	「エコドライブ」（アイドリングストップ、加減速が少ないなど、燃費の良い運転）の普及を進めます。	にっしん環境まちづくりサポーターズ制度の推進 広報・HP等で省エネ情報を発信する	
	行政	まちづくり分野での取組	D10	公共交通機関・自動車等の利用促進	マイカーから公共交通機関や徒歩・自転車に転換することで、エネルギーの消費の少ない交通をめざします。	公共交通機関の利用促進を啓発	くるりんばすの一日あたりの利用者数 900人（H30：887人）
			D11	環境負荷の少ないまちづくりの推進	市役所周辺地域の利便性を高め、環境負荷の少ないにぎわいのある中心核の形成をめざします。		
			D12	緑化等による都市気候の緩和	公共空間や民有地の緑化を進めることによって、二酸化炭素の削減やヒートアイランド現象の緩和をめざします。		
	全て	再生可能エネルギーの利用促進	E13	再生可能エネルギーの利用促進	太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入促進により、電気の使用に伴う温室効果ガスの排出削減をめざします。	地球温暖化対象機器設置費補助事業の実施	地球温暖化対策機器設置費補助件数 222件（H30：257件）
			E14	環境にやさしい電力の選択	電力の契約にあたって、再生可能エネルギーなど環境に配慮した電力を選ぶことで、間接的に温室効果ガスの排出削減をめざします。	広報・HP等で市民・企業へ情報を発信する	
非エネルギー起源CO2	全て	廃棄物の抑制	F15	廃棄物の発生抑制	ごみになるようなものを家庭に持ち込まないこと、また、今あるものをできるだけごみにしないことで、廃棄物の発生を抑制し、廃棄物処理に伴う温室効果ガスの削減をめざします。	環境学習講座の実施 （夏休みリサイクルツアー等） 広報・HP等で市民・企業へ情報を発信する	リサイクル率 33%（H30：31.2%）
			F16	リサイクルの推進	廃棄されたものが資源として適切にリサイクルされるよう取り組み、天然資源の消費を抑制するとともに、廃棄物処理に伴う温室効果ガスの削減をめざします。	環境学習講座の実施 （夏休みリサイクルツアー等） 広報・HP等で市民・企業へ情報を発信する	
普及啓発等	行政	情報発信の拡充	G17	情報発信の拡充	地球環境の現状や持続可能な社会の実現のために取り組むべき事などについて、情報に接する機会とその内容を拡充し、多くの人の行動が地球環境に配慮したものに転換していくことをめざします。	各イベントへの参加 530運動、わいわいフェスティバル、市民まつり等 広報・HP等で省エネ情報を発信する	環境学習講座実施数 45講座（R1：45講座）
		環境学習の推進	H18	環境学習の推進	さまざまな属性の市民や事業者が、それぞれの立場で地球環境の保全のための学びを得て、実践につなげていくことをめざします。	環境学習講座の実施 にっしん環境まちづくりサポーターズ制度の推進	

（ ）は現時点での最新情報です。

令和2年度 地球温暖化対策機器設置費補助金について

〔補助対象機器等〕

区分	①太陽光発電システム	②家庭用燃料電池システム (エネファーム)	③定置用リチウムイオン蓄電システム
条件	一体的導入 ^{※1}	単独設置	単独設置
補助 上限額 ^{※6}	1kW1万円 (上限4kW) ^{※2}	上限5万円	1kWh1万円 (上限8kW)

区分	④HEMS	⑤V2H	⑥高性能外皮等 一体的導入 [※]	⑦エコ窓改修
条件等	単独設置	単独設置	³ ※新築(ZEH ^{※4})のみ	※既存住宅のみ (新築・増改築は対象外) ^{※5}
補助 上限額 ^{※6}	上限1万円	上限5万円	上限10万円	補助対象経費の1/4 上限5万円

※1 HEMS(家庭用エネルギー管理システム)、及び定置用リチウム蓄電システム又はV2H(電気自動車等充給電システム)を同時に設置するもの

※2 最大出力値kWの小数点以下2桁未満を四捨五入(3.516kW⇒3.52kW)

※3 太陽光発電システム及びHEMSを同時に設置するもの

※4 国の策定したZEHロードマップにおける「ZEH」を満たすもの。Nearly ZEH及びZEH Orientedは対象外。

※5 主たる居室に係る全ての窓の改修を必須とすること。

※6 100円未満は、切捨てとする。

(一体的導入例)

①太陽光発電システム (上限4万円)	+	④HEMS (上限1万円)	+	③定置用リチウムイオン蓄電システム (上限8万円)	=	(合計)上限13万円
or						
				⑤電気自動車充給電設備 (上限5万円)	=	(合計)上限10万円
or						
				⑥高性能外皮等 (上限10万円)	=	(合計)上限15万円

〔令和2年度からの変更点〕 ※詳しくは、本手引きをご覧ください

- ・一体的導入メニューを新設しました。
- ・太陽光発電システムの単独補助を廃止しました(一体的導入のみ補助対象となりました)。
- ・太陽光発電システムの上限額を増額しました。
- ・太陽熱利用システムを補助対象から削除しました。
- ・様式等を変更しました。